

経営比較分析表（令和3年度決算）

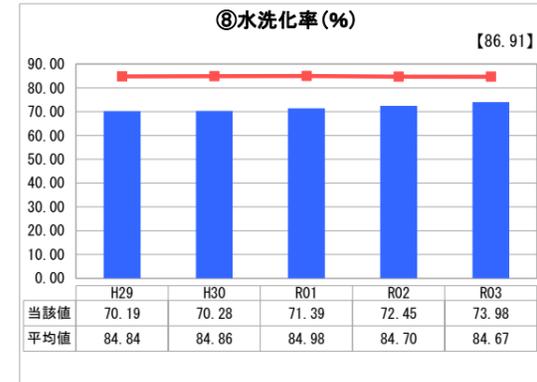
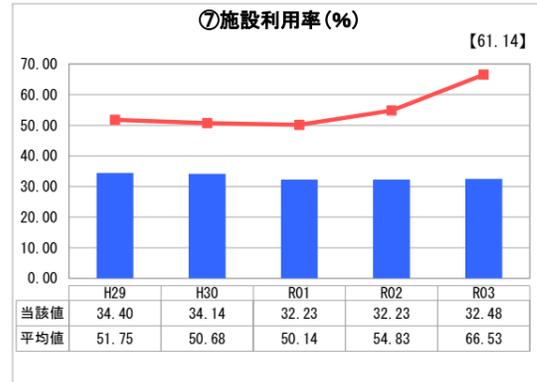
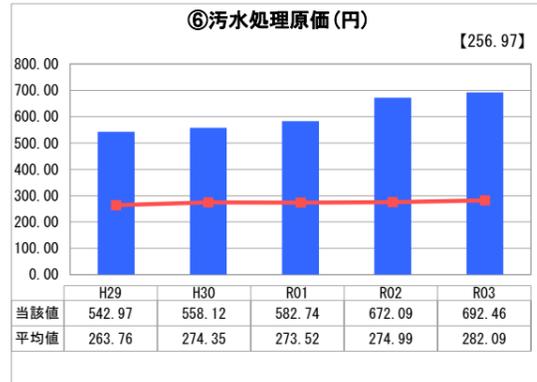
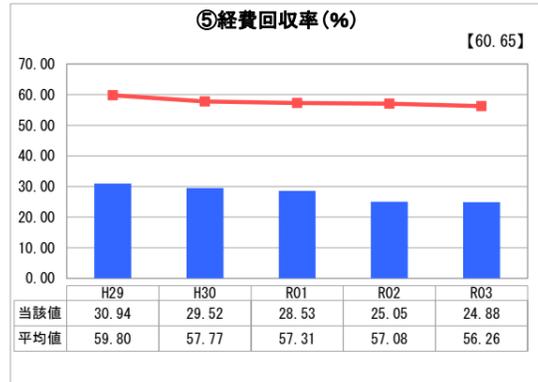
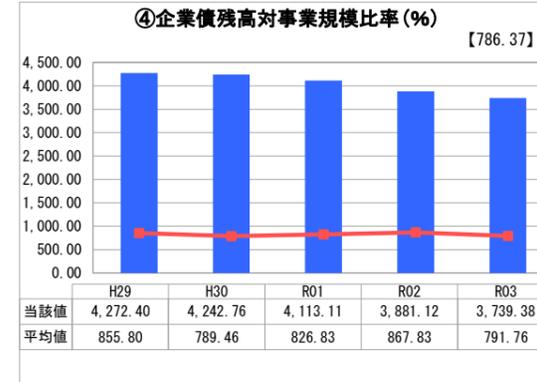
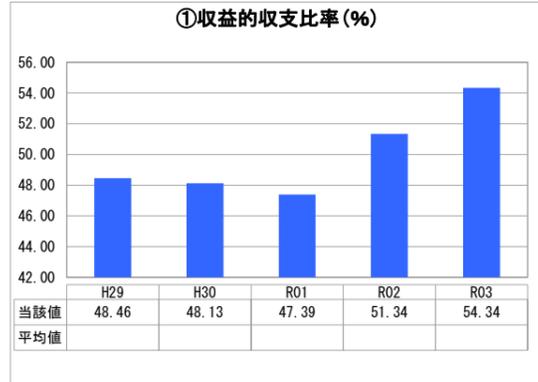
山形県 尾花沢市

業務名 法非適用	業種名 下水道事業	事業名 農業集落排水	類似団体区分 F2	管理者の情報 非設置
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 該当数値なし	普及率(%) 8.50	有収率(%) 94.56	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) 3,300

人口(人) 14,913	面積(km ²) 372.53	人口密度(人/km ²) 40.03
処理区域内人口(人) 1,253	処理区域面積(km ²) 1.23	処理区域内人口密度(人/km ²) 1,018.70

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

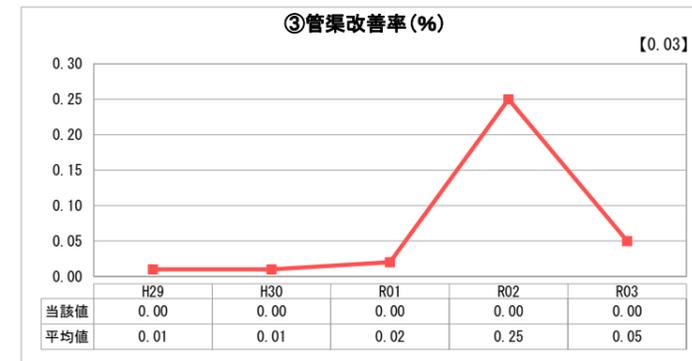
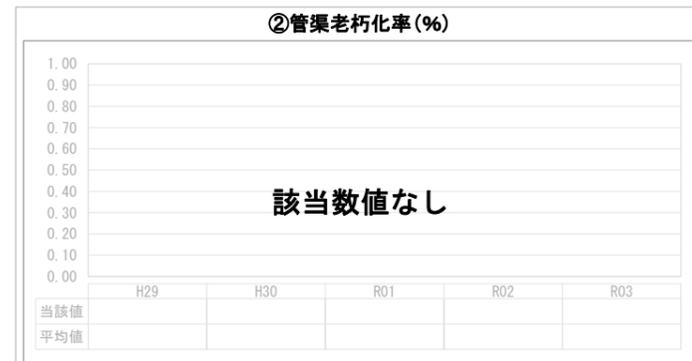
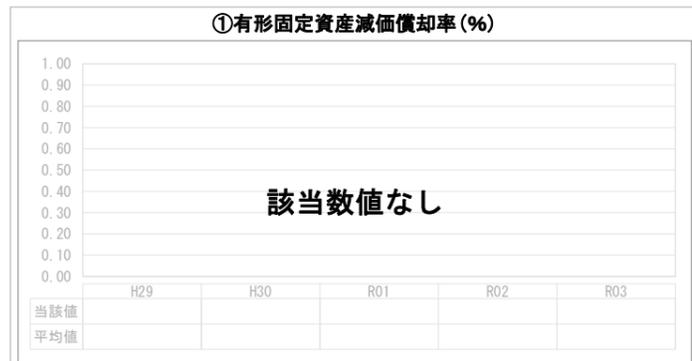
1. 経営の健全性・効率性について

牛房野、毒沢、宮沢西部の3処理区があるが、どの処理区も高齢化や人口減少により、水洗化率は微増しているものの、経費回収率が微減しており、適切な水準の料金収入に結び付いていない。
また、どの処理区も面積が広く、家屋が連坦していないため効率性も良くない。
以上から、汚水処理原価が高く、企業債残高対事業規模比率も減少傾向にあるものまだまだ高い状況にある。
そのため、使用料のみでは不足が生じ、一般会計からの繰入金にて補填している状況である。

2. 老朽化の状況について

3処理区あり、供用開始が牛房野処理区で平成13年4月、毒沢処理区で平成16年4月、宮沢西部処理区で平成20年4月と幅がある。
令和2年度に機能診断を実施し、令和3年度に最適整備構想を策定し、大きく修繕が必要な箇所は見受けられないものの、修繕が必要となってくる傾向は見受けられ、各施設の老朽化対策を計画的に推進していくことが重要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

高齢化や人口減少により経費回収率が低く、一般会計繰入金に依存している面があるため、今後も加入促進に努め、使用料の増収を図っていく。
しかし、今後も人口減少傾向にあり、大きく改善していくことは難しい状況であるため、将来に向けた農業集落排水事業の在り方を検討していく必要がある。
また、最適整備構想の策定により、効率的、計画的な施設の維持管理に努め、経営改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。